

	書名	著者	出版社
1	おなみだぼいぼい	ごとうみづき	ミシマ社
2	はやくはやくっていわないで	作：益田ミリ 絵：平澤一平	ミシマ社
3	ミケちゃんとやすらぎさん	やすらぎさん にごたろ	KADOKAWA
4	32歳。いきなり介護がやってきた。	あまのさくや	佼成出版社
5	いのちを呼びますもの	稲葉俊郎	アノニマ・スタジオ
6	コミュニティナース	矢田明子	木楽舎
7	注文をまちがえる料理店のつくりかた	小国士朗	方丈社
8	完璧になれない。だからいい	ヘミン・スニム	アノニマ・スタジオ
9	静寂とは	アーリング・カッゲ	辰巳出版
10	点滴ポール	著：岩崎航 写真：齋藤陽道	ナナロク社
11	ウェルフェアトリップ	羽塚順子	アノニマ・スタジオ
12	職人の手	山崎真由子	アノニマ・スタジオ
13	かなわない	植本一子	タバックス
14	家族カレンダー	中村暁野	アノニマ・スタジオ
15	まる ありがとう	養老孟司	西日本出版社
16	ヤングケアラーってなんだろう	澁谷智子	筑摩書房
17	病と障害と、傍らにあった本。	齋藤陽道 他	里山社
18	土になる	坂口恭平	文藝春秋
19	「利他」とは何か	伊藤亜紗 編	集英社
20	OHISAMA BOOKS -おひさまから届いた歌-	Mana Teraishi	ニジノ絵本屋
21	わたしをひらくしごと	取材・文：野村美丘 写真：藤田二郎	アノニマ・スタジオ
22	「死」が教えてくれた幸せの本質	船戸崇史	ユサブル
23	イノダアキオさんのコーヒーがおいしい理由	猪田彰郎	アノニマ・スタジオ
24	さよなら、俺たち	清田隆之	スタンド・ブックス
25	「ほとんどない」ことにされている側から見た社会の話を。	小川たまか	タバックス



自分が知らないだけで、実はさまざまな生き方がある。

多様な考え方があるということをまずは認める。

なんだか他人を許せなくて余裕がない状態、いままさにそういった「不寛容さ」が蔓延しているように思います。

だからこそ、「多様性を認める」「それが当たり前になる」社会に近づくような、そのための新しい発見に出会える本を選びました。同時に、「ケア」や「介護」「障害」などのキーワードを集めつつ、それだけでない、暮らし全般を包むような本を意識して選びました。